

研究部課題

(五月二十二日締切)

(課題)

鳳

▽出品要項

(1)資格—推薦、準推薦、推薦格合格者
(漢字・随意・かなのいずれかで推薦格以上であればよい。同人、準同人も歓迎)

(2)締切—五月二十二日必着

(3)発表—書誌七月号誌上

(4)出品料—九二〇円同封

(5)出品方法

ア、出品は一人一点とする。

イ、私製の出品票(タテ10センチ×ヨ

コ5センチ)を作品の左下にぶら下

げて貼付する。

▽注意

(1)半紙タテ・ヨコ自由。

(2)書体自由。

(3)落款は「鹿門書」と書き入れること。

雅印は無用。(出品者の本名又は雅号

を入れた作品は失格)

のりしろ
研究部
5月22日締切
(支部名)
フリガナ
(姓名(号))

10センチ
5センチ

一字書 (五月二十二日締切)

課題

柳

(1)書体自由

(2)半紙タテ・ヨコ自由

(3)落款は余白に調和を工夫し書き入れる

(4)出品料 四三〇円

半紙課題(予告) (六月二十二日締切)

平岡華雪先生書 心遠くして地寛閑たり。(魏野)

心遠地
寛閑

訳：心は世俗から遠ざかって住居のこころも静閑である。

平岡華雪先生書 空梅雨や松にかけたる雀の巣(虚吼)

空梅雨や松にかけたる雀の巣
のうらみ

八〇〇号記念誌上展出品要項

いよいよ十月号で記念すべき八百号に達します。賛助出品、毛筆・硬筆算試発表、漢字かな交じりの書、一字書による豪華な誌上展を企画しました。この機に自己啓発し更なる成長への足がかりとしていただけますよう意欲的な出品をお願い申し上げます。

一、同人・準同人・支部長・推薦

賛助出品とし、出品者全員の作品を掲載します。

・作品サイズ 毛筆作品で半切以下縦横自由

・賛助出品料 同人・準同人 一〇、〇〇〇円

支部長 七、〇〇〇円

推薦 五、〇〇〇円

*推薦の方は漢字・随意・かなのいずれかの部門で推薦であれば、一人一点出品できます。

・申込締切 七月二十二日(金)

六月号に同封の「八〇〇号記念誌上展」賛助出品申込書に、氏名・資格・作品縦横サイズを記入して提出してください。

・出品締切 八月十日(水)

① 作品

② 六月号に同封の「八〇〇号記念誌上展」賛助出品取りまとめ表に人数・金額・送金方法を記入する。

③ 「八〇〇号記念誌上展」賛助出品票に必要事項を記入。

以上①②③をまとめて期日までに送付してください。

二、毛筆(準推薦)八級)硬筆(正教授)八級)

昇級試験を実施します。七月号掲載(八月二十二日締切課題)

④毛筆部は秋季昇級試験とします。九月二十二日締切の昇試

はありません。

④硬筆部は特別昇試とします。秋季昇試(十一月二十二日締切)も実施します。創作部門も同様。

・出品規定 通常の昇級試験と同様

*毛筆部推薦の方で他部門が準推薦以下の方は受験できません。

・受験料 通常の昇級試験と同額

・申込書 七月号に同封します。

・作品締切 八月二十二日(月)

・発表 十月号||八〇〇号記念誌上展

・特典 記念展として賞を授与します。

・毛筆部は師範まで、硬筆部は特選までの受験者はランク以上昇格します。(記念展特例)

・作品掲載は通常より多くします。

三、漢字かな交じりの書

資格に関係なくどなたでも出品できます。優秀作品掲載

・課題 七月号に活字で掲載

・出品料 月例競書と同額

四、一字書

資格に関係なくどなたでも出品できます。優秀作品掲載

・課題 七月号に活字で掲載

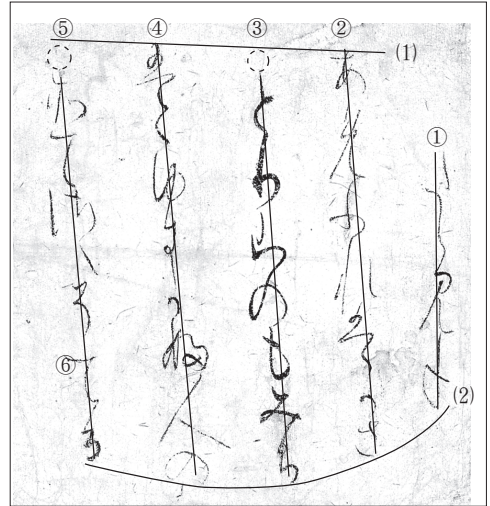
・出品料 月例競書と同額

五、増頁に伴う誌代は別途五〇〇円となります。

六、授賞式は十一月二十七日(日)予定

◆指定のサイズ (たて14cm、横13cm) で臨書して下さい。出品料430円

寸松庵色紙

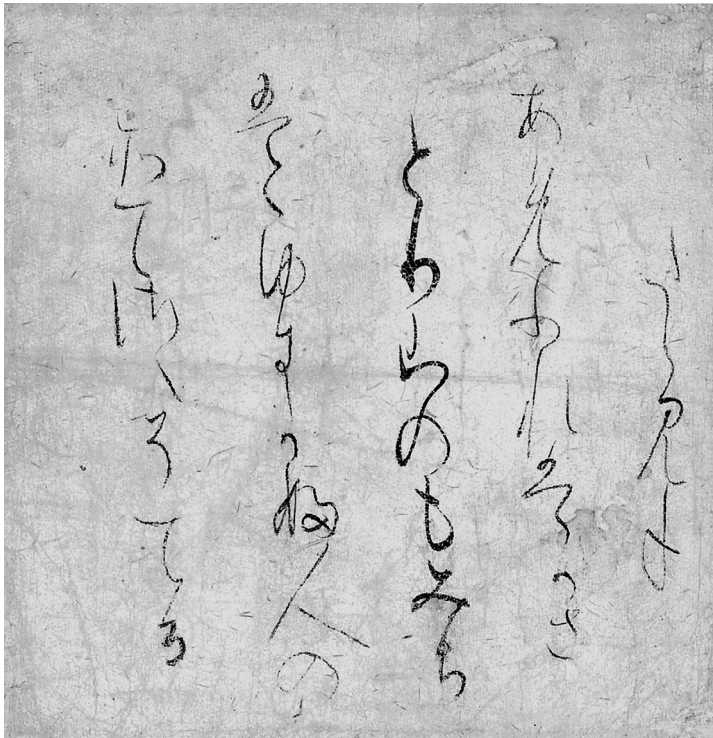


たて14cm、横13cmの中に収める。

- 2、形式||用紙を作ってもよいし、半紙に規定の広さを描いてその中に収めてもよい。落款は、全体のまとまりを考えて○臨と入れる。
- 3、概観||寸松庵色紙の臨書の最終回である。大筆で連筆・リズム・連綿の呼吸を学びながら、だんだん小さく書いてきた。漢字の臨書学習においてだけではなく、仮名においても必要な学習方法である。これまでの学習のまとめとして、筆圧や潤濁の変化、散らし書きの基本などを原寸大に近い大きさに収める。
- 4、学習のポイント
 - (1)行頭を見る
 - 。②と④、③と⑤の高さ(書き出し)がほぼ同じであること。∴(1)
 - (2)行脚を見る
 - 。①から④まで順に下がり、⑤を高くして弧に収まるような形になっている。∴(2)
 - (3)行間と行の傾き
 - 。四ヶ所の行間はほぼ同じである。
 - 。傾きは①に対して②、⑤はわずかに左に傾いている。
 - (4)連綿を見る
 - 。四文字連綿(多、見年)、六文字連綿(盤、ゆ支可婦)に注意。
 - (5)線の強弱を見る
 - 。散らし方はオーソドックスであるが中心の行③に墨量と筆圧をかけた線を配して変化をつけている。
 - 。他の行は鋭い線で構成されている。

1、字句||多^{ただ}、見年^{のみねん} あ免^{あめ}ふれ盤^{ばん}可^かかさと
利山^{りさん}のみみち盤^{ばん}、ゆ支^{ゆし}可^かか婦^ふ
人の所^{ひとのしよ}て佐^さ、曾^{そう}てる
※「古今集卷第五」によれば
(行かふ人の袖さへぞてる)
とある。

多^{ただ}、見年^{のみねん}
あ免^{あめ}ふれ盤^{ばん}可^かか
とり山^{とりさん}のみみち
ば^{ばん}、ゆ支^{ゆし}可^かか婦^ふ
そ^そで^でさ^さへ^へぞ^ぞてる



※随意部参考(条幅)としてもご利用下さい。抜粋可。
随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

A
鈴木静村先生書

走馬西來欲到天 離家見月兩回圓 (岑參)
馬を走らせて西來天に到らんと欲す。家を離れてより月の兩回圓なるを見る。



B
高橋香樹會長書

短鋒筆に、たっぷり墨を含めポツテリとした感じの線を狙った楷書です。大事なことは、筆鋒の当たりの強さ、筆毛の挫きです。締まりのない弛い線では失敗。墨継ぎは「三字で墨継ぎ」とした構成ですが、筆の大小、紙質、含墨の程度等によって差異があり、決められたものではありません。落款、楷書であるから「楷書」というセオリーはなく、逆に本文の楷書体に重ねず、行草体の柔軟味で和らぎ纏める手法が多くなっています。



今回はきちっとした方針のないままの書作となった。結果、行書は「馬」、「月」、「兩」の三字で他は草書となる。左右の行の出入りを意識し、横に広がる字を余白がある所に配するよう心懸けた。但し、「回」、「圓」の「口(く)にがまえ」が同じ連筆になった。ここは工夫して戴きたい。連綿は二字連綿四ヶ所。墨継ぎは「天」と「月」。

訳：馬を走らせて西へ西へと進んで行くが、道は果てしなく続き天に向かっていっているような心持ち、家を去って二度満月を見たから、すでに二ヶ月たっている。

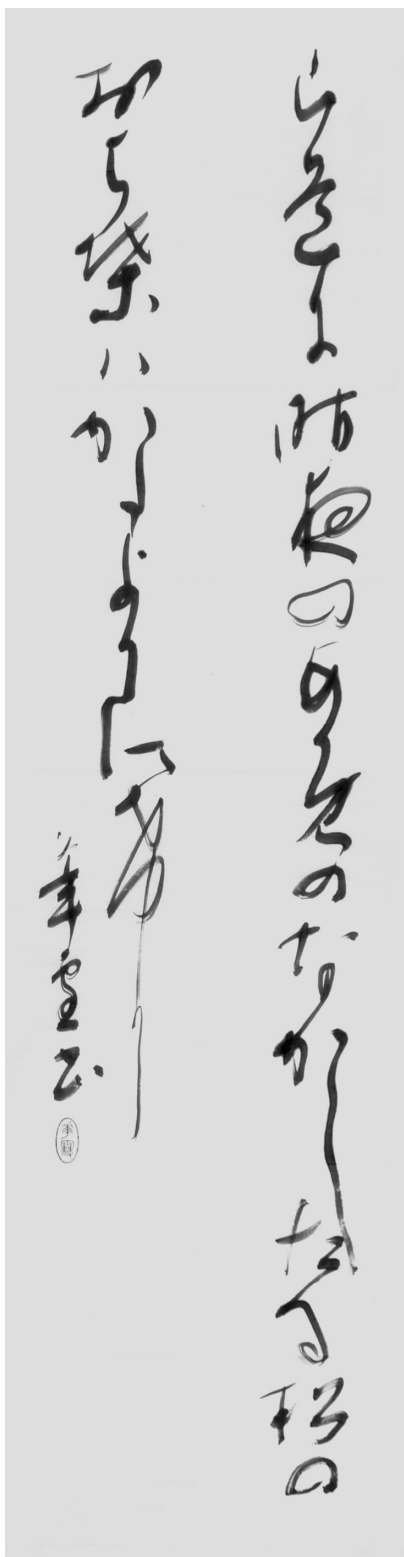
予告 (六月二十二日締切) 翠竹碧梧歌鳳曲 疎簾細簟坐漁莊 (釋元本詩)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

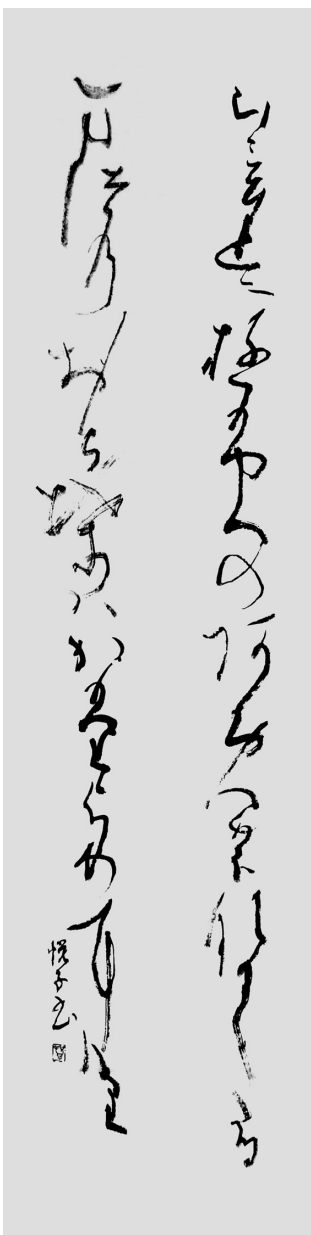
山道に昨夜の雨の流したる松の落葉はかたよりにけり(島木赤彦)
山道^{やまみち}尔^に昨夜^にの^あ免^めの^なかしたる松のおち葉^は八^はか多^たよりに希^り



B

長野悦子先生書

山三^{みやま}遅^に二^に遊^{あそ}布^ぶへの阿^あ免^め農^の那^な可^かし多^たる万^ま徒^つ乃^のおち葉^は八^はか堂^た与^よ利^り耳^み介^け里^り



学び方

歌意：夜来の雨で十分に湿りをおびた土がきれいに片寄っている。誰も通らない山道を踏みしめて行く。朝のさわやかな気分を意識してまとめてみました。
一行目は十分な墨色で、二行目は唱筆を生かして「さわやかさ」を出してみました。
一行の最後「多る」と三行目の終筆「介里」は文字が似ていて同じ方向をむいているのは私の勉強不足です。
古典の臨書・集字は作品を書く上で、とても必要です。書けば書く程に自分の癖が出てくるものです。一・二枚でなく、納得いくまで臨書して下さい。

予告 (六月二十二日締切)

音に聞く高師の浜のあだ波はかけじや袖のぬれもこそすれ (百人一首)

島木赤彦 (一八七六〜一九二六)
長野県上諏訪村に生まれ。一九一三年(大正二年)発行のアララギ叢書第一編、島木赤彦・中村憲吉の合著歌集『馬鈴薯の花』また第二編の斎藤茂吉の『赤光』が注目されるに及んで「アララギ」は歌壇で広く認められ「アララギ」の歌壇制覇と言われる時期を迎えることになった。代表歌は『切火』『氷魚』『太虚集』『柿蔭集』。赤彦は、小説物語、散文、紀行文、新聞掲載、エッセイ等多数の作品を著している。

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

加藤洞雪先生書

村樹綠齊黃鳥界 海山青盡白鷗天（袁桷）
そんじゅみどりひと こうちやう かい かいせんせい はくおう てん
 村樹綠齊し黄鳥の界、海山青は尽く白鷗の天。

村樹綠齊黃鳥界
 海山青盡白鷗天
 加藤洞雪

訳：村の樹木の緑はいっせいに深く中に鶯が鳴いている。海中の山はまっさおに其処はかもめの世界である。

鈴木枝豊先生書

むらさきの藤江の岸の松が枝によせてかへらぬ浪ぞかかれる（続後撰和歌集 後嵯峨院）
むらさき ふぢえ まつがえ
 紫の藤江のきし能松可枝尔よ勢て可遍らぬ浪ぞかゝれる

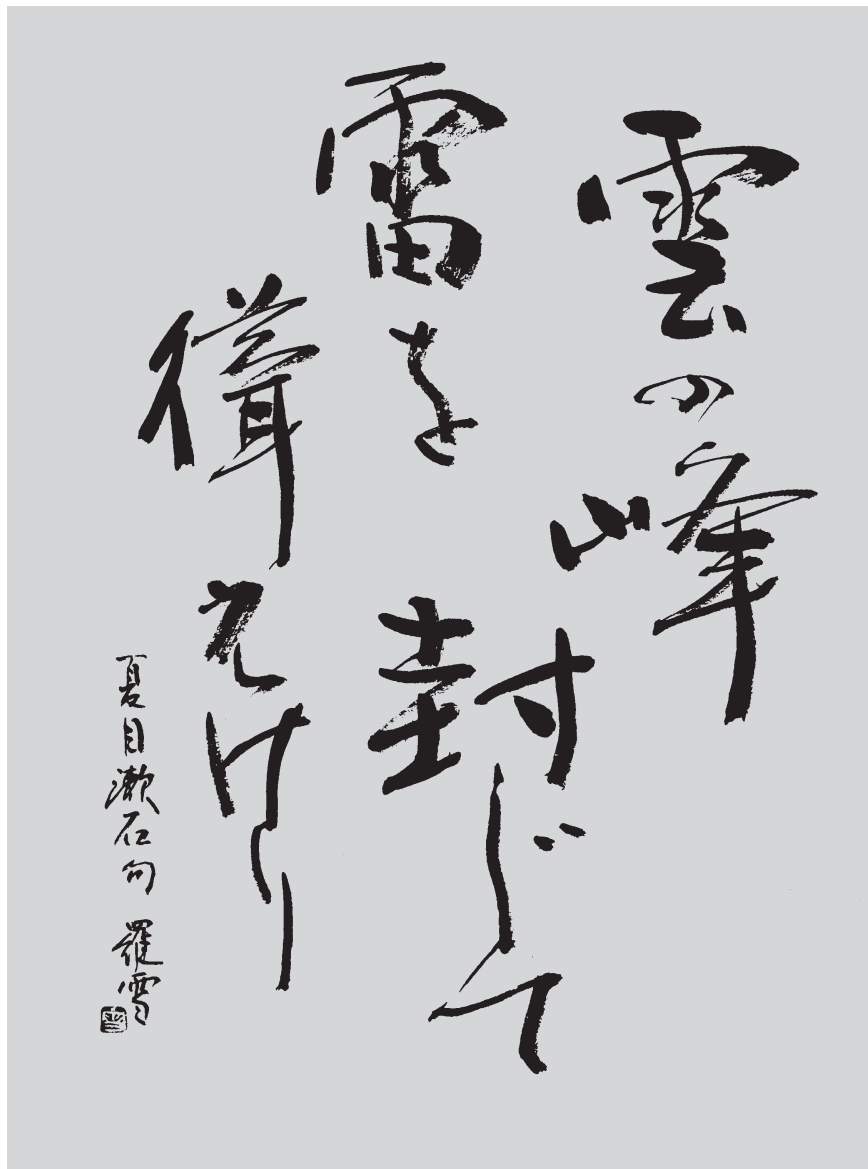
紫の藤江の岸の松が枝によせてかへらぬ浪ぞかかれる
 鈴木枝豊

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

杉浦羅雪先生書

夏目漱石
 (一八六七〜一九一六)
 東京生れ。本名、金之助。
 小説家、評論家、英文学者、俳人。

漱石は、高師・中学教師を経て英国に留学し、帰国後は旧制一高、東大で英文学を教えていました。高師時代の友人高浜虚子の勧めにより『我輩は猫である』『こころ』『坊ちゃん』等の創作活動を展開し成功を収めました。又、子供時代からの親友正岡子規により、俳句などの文学的影響を受け、子規の数多いペンネーム(雅号)のひとつ「漱石」を譲り受け俳人としても活躍しました。



課題

雲の峰 雷を封じて
 簀えけり

用具 筆と紙

筆は線の表情に直結し言葉の情景を変えます。力加減や速度・用筆の違いで表情は異なります。そして筆の動きを受け止める特性を生かせるのが紙です。用具の選び方、使い方をいろいろ試して下さい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

江は曠くして春潮は白し(王勃)
訳：川は広々として春の白い波を立てて流れる。

〈鋒先の利いた横画〉
「曠・春・潮」には横画が重なり、分間の処理が課題の一つ。まずは鋒先を利かせ細めで、直線的な用筆を心がけて下さい。古典では唐初の名碑「九成宮」「皇甫府君」を参考に。

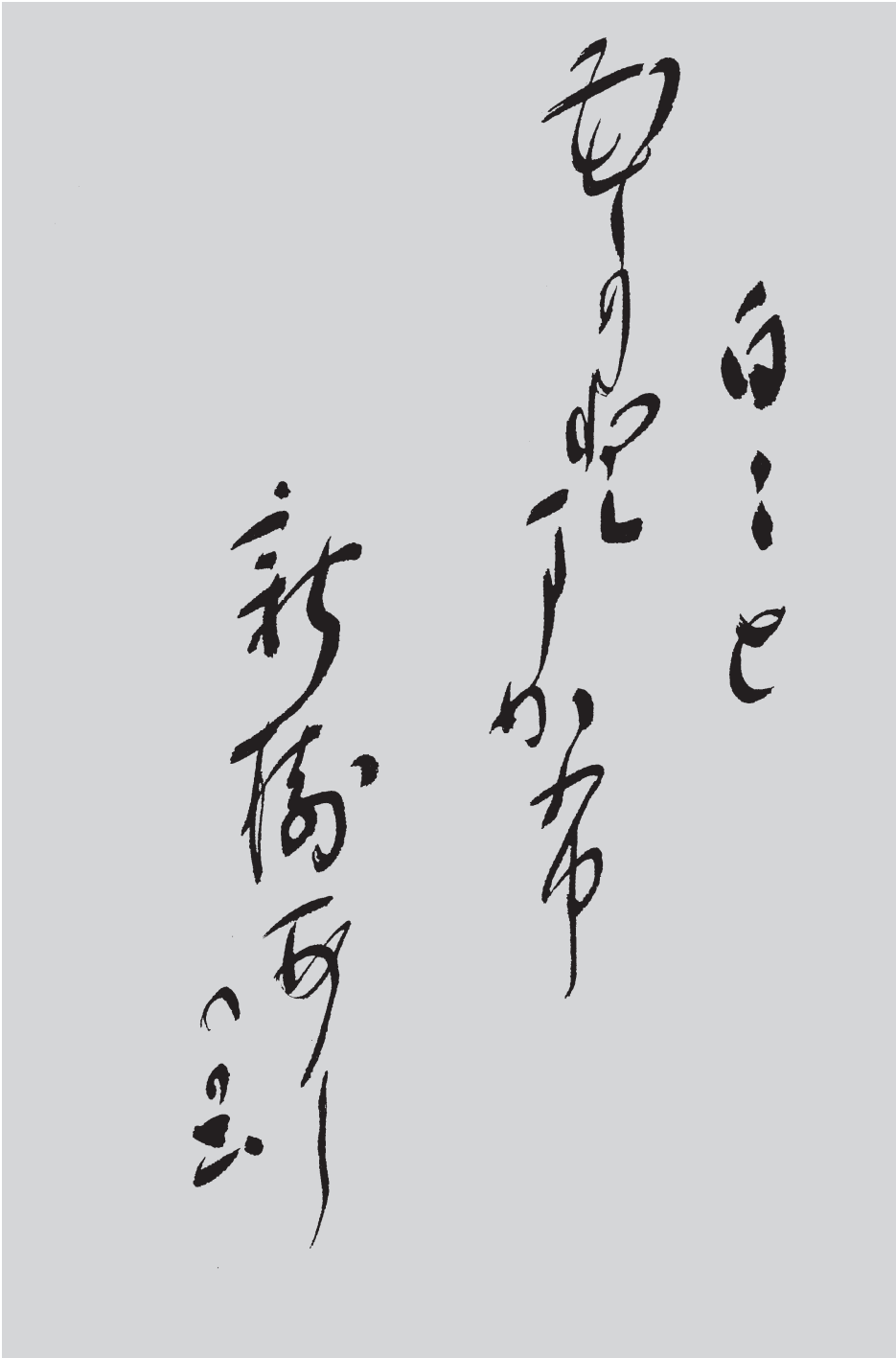


◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

平岡華雪先生書

白々と花かともがう新樹あり(虚子)
白々と花可登^か方^とか布^ま新樹あり



〈些細なこと…〉

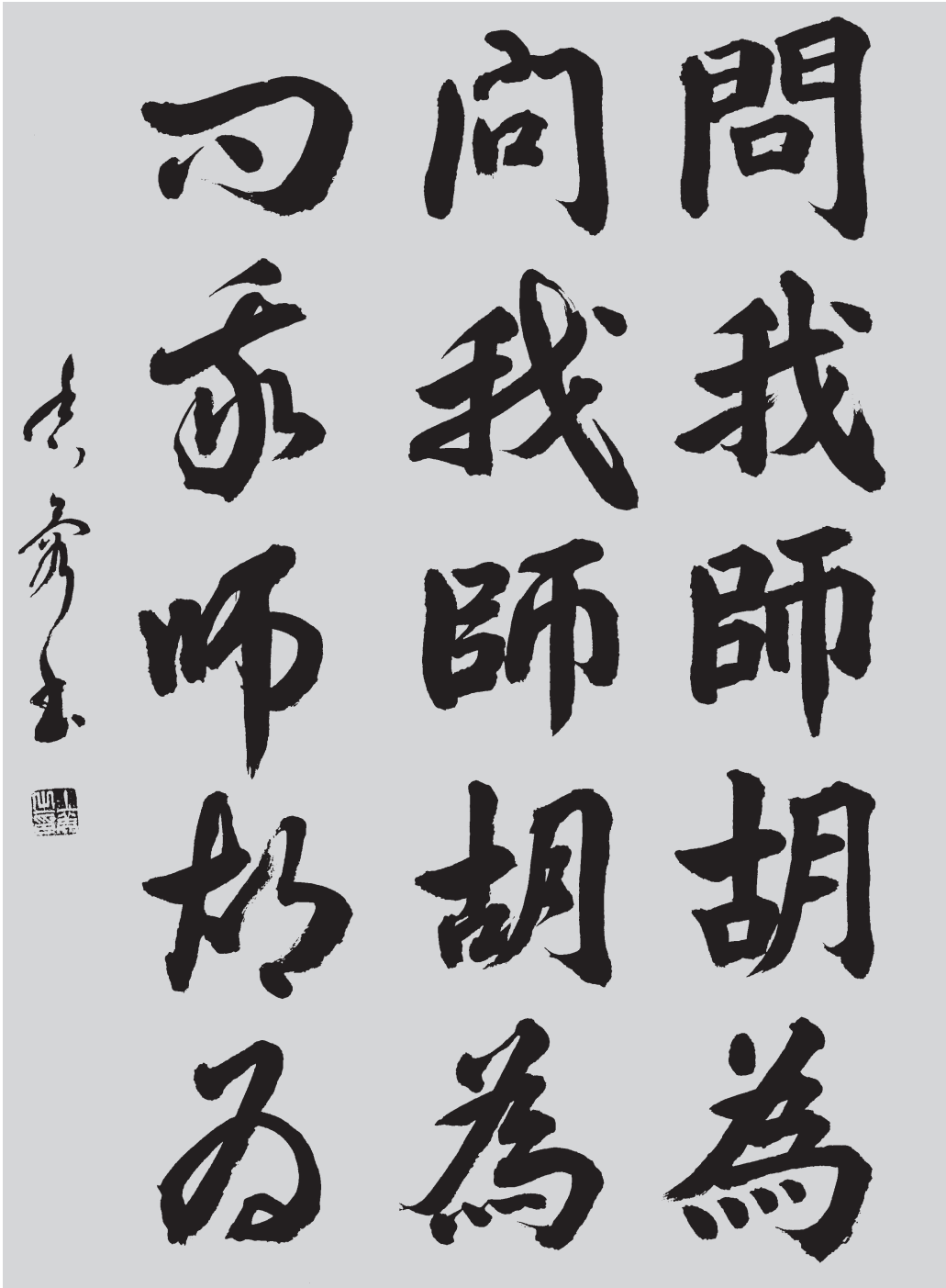
踊り字「々々」、詩歌では点一つをチョンチョンと書く。言うのは簡単、いざ書く場合、特に冒頭に出てきた場合、なかなかリズムに乗せにくい。書き込んで手に馴れさせてほしい。下の句の「新樹」二字共、崩し方が多い。字典で調べ、よく練習した上で使うようにしたい。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新会員は無料。

川上香蓉先生書

問我師胡爲（良寛）
我に問う師は胡なんす為れぞ



訳：老人我れに問う、どうして（白雲去來の峰に住むかと。）

1. 随意部参考として出品してください。 2. 会員外の出品料は430円。

難波陽石先生書

閑意難適俗 靜乃合詩情（王微）
閑意俗に適し難く、静は乃ち詩情に合す。

閑意難適 俗靜乃合 詩情
閑意難適 俗靜乃合 詩情

訳：静閑を好む心は何としても俗にあわすことはできぬが、そのしずかさは即ち詩情に適合する。

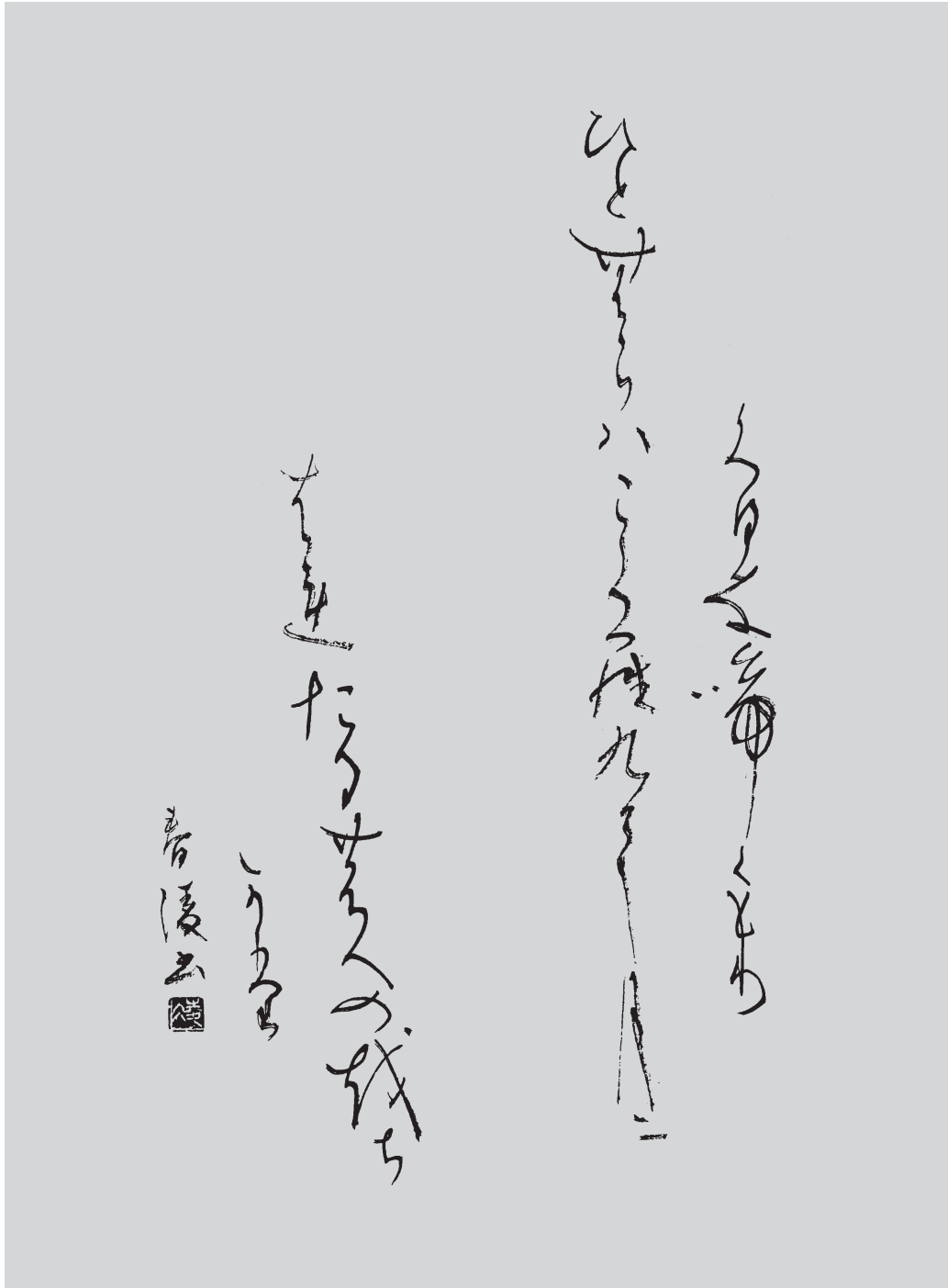
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

随 意 部 参 考

武井春凌先生書

くひな鳴く森ひとむらは木暗くて月に晴れたる野べのをちかた（風雅和歌集）
久日奈暗久も利ひと無ら八こ久羅九氏月二者連たる農への越ち可堂

実明女



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

硬筆部昇試課題参考

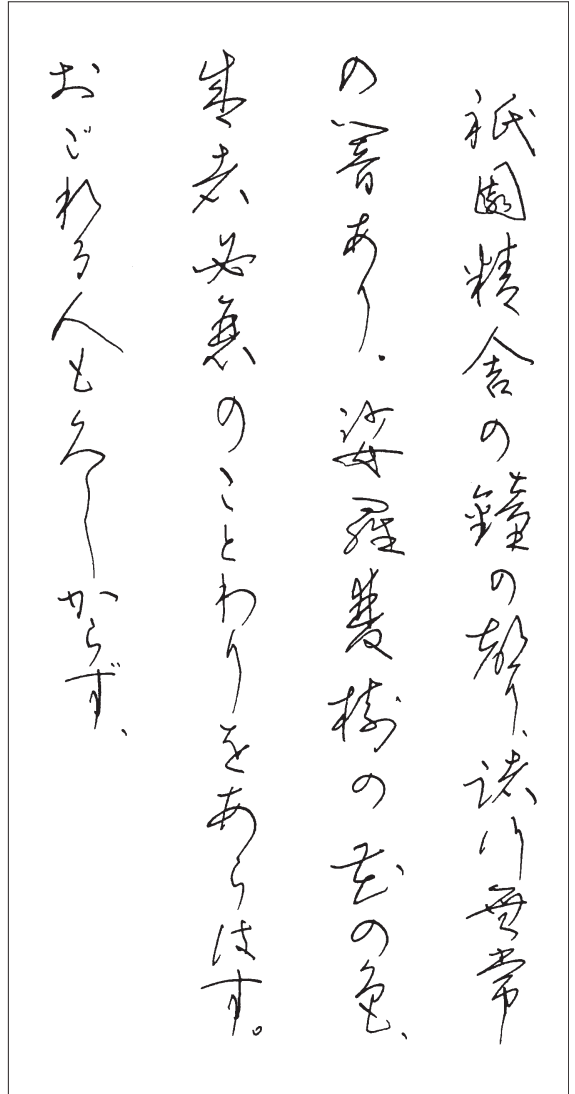
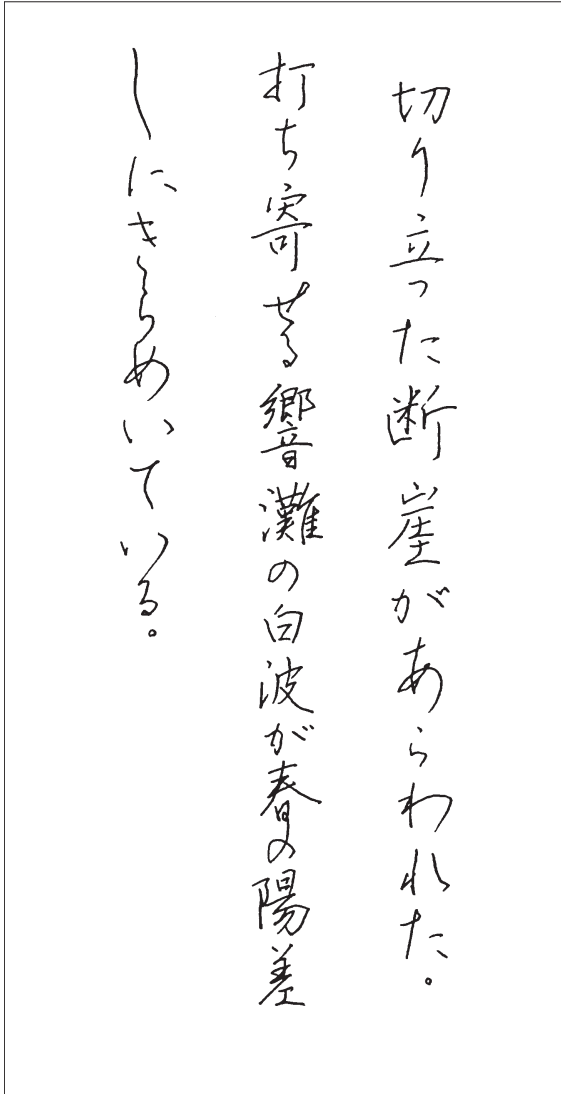
(五月二十二日締切)

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)



正教授 創作部門 (自運作品、自由形式、硬筆用紙使用) で出品。二名の審査員による合計点数で優秀作品掲載。審査料一、〇〇〇円

課題1 (初段階以上)

祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響あり。娑羅雙樹の花の色、盛者必衰のことわりをあらはす。おごりたる人も久しからず、

「平家物語」

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン (黒色) を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入 (色は黒) はじめて出品される方は私製の紙 (3×4 cm位に) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円
- (6) 昇試規定は裏表紙を参照の事。

課題2 (初段階以下)

切り立った断崖があらわれた。打ち寄せる響灘の白波が春の陽差しにきらめいている。

「春雷」

伊集院静